

独立行政法人 国立病院機構
大阪南医療センター

ボランティアの力で医療用ガウンを製作



河内長野市（市長 島田智明）は、市と連携協定を締結している市内の独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター（院長 脇岡泰三）からの依頼を受けて、令和2年5月20日（水）、市内のボランティアにより製作した医療用ガウン（280着）を手渡しました。

同市では、市立市民公益活動支援センターるーぷらざ（指定管理者 NPO法人はぴえる）を中心に、つながりのあるボランティア団体や公民館ボランティア等（合計37人）の協力を得て製作しました。今後、5月末を目途に製作を続け、合計約450着のガウンを贈呈する予定です。

【経過】

大阪南医療センターでは、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、医療従事者が現場で使用する医療用ガウンが不足していたため、脇岡院長から島田市長に、「ガウンの材料を確保できるが、マンパワーが足りない。製作に市民の力をお借りできないか。」との相談を持ちかけました。

これを受けて、河内長野市では、るーぷらざや公民館を通して、市民ボランティアに協力を求めた結果、多くのボランティアの申し出があり、るーぷらざのコーディネートのもと、裁断や縫製、アイロンかけなどの作業を手分けして行いました。

【脇岡院長のコメント】

国内では落ち着きつつある新型コロナウイルスの感染拡大も、世界に目を移すとまだまだ感染が拡大しており、引き続き医療物資が手に入りにくい状況にあります。このような中、多くのボランティアの皆さんにご協力いただいたことに感謝申し上げます。今後も、皆さんの思いを胸に、医療物資をしっかりと確保しながら、この地域で医療を支え続けてまいります。



【問い合わせ】

独立行政法人 国立病院機構大阪南医療センター ☎0721-53-5761

河内長野市 自治安全部自治協働課（るーぷらざ所管） ☎0721-53-1111

河内長野市 市民保健部健康推進課（保健センター） ☎0721-55-0301